



マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.8.24

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、中東情勢の緊張が長期化すると懸念から原油価格（WTI期近）が約1カ月ぶりの高値となる89ドル台まで一時上昇したことや、世界的な長期金利の上昇が嫌気され、主要株価指数は反落しました。S&P500指数は週間で▲1.4%、ナスダック総合は同▲2.1%といずれも4週ぶりの反落、独DAX指数は同▲1.1%、日経平均株価は同▲3.9%で終わりました。米財務省が19日、長期金利上昇の対応策として国債の買戻し額倍増を発表しましたが、金利低下効果は一時的に留まりました。10年国債利回りは、米国が前週末比+4bpの4.74%、独は+5bpの3.26%、日本は▲0.4bpの2.89%で引けました。ドル円は前週末比37銭円高・ドル安の158円95銭で引けました。

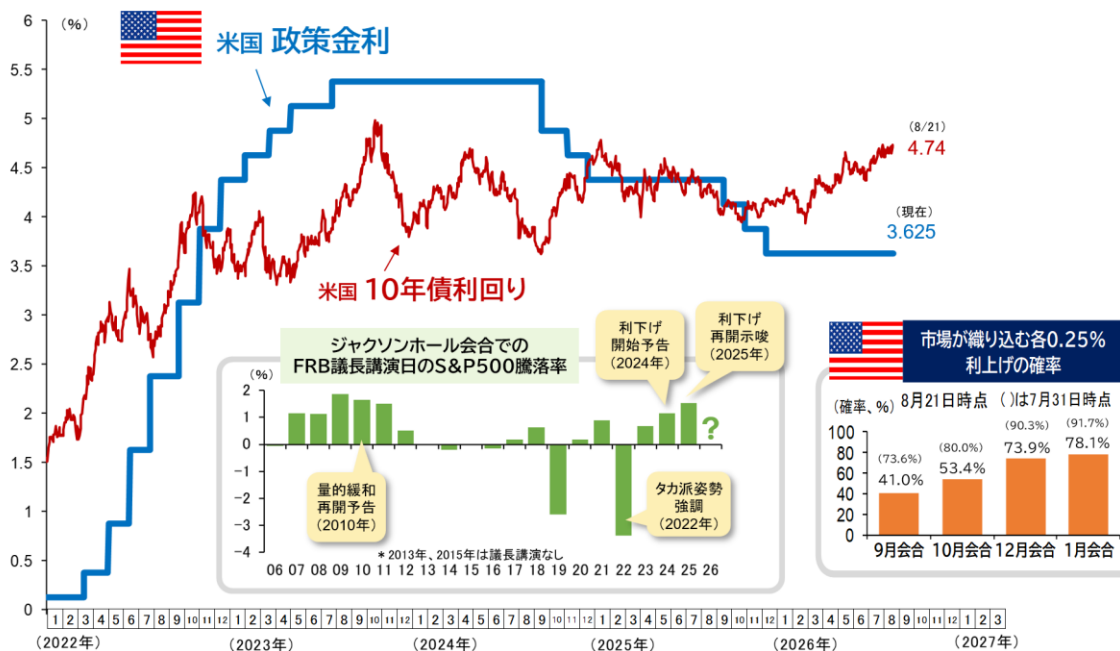
今週は、日米の金融政策を見通す材料として、国内では氷見野田銀副総裁の講演、8月東京都区部CPI、米国ではジャクソンホールにおけるウォーシュFRB議長の講演、7月コアPCEデフレーターに注目が集まります。

当面の注目イベント

- ★独・8月IFO期待指数 (25日)
- ★米・7月コア資本財受注 (26日)
- ◆米・7月コアPCEデフレーター (26日)
- ◆米・エヌビディア5-7月期決算発表 (26日)
- ◆日・氷見野田銀副総裁講演(埼玉) (27日)
- ◆米・ウォーシュ議長講演(ジャクソンホール) (28日)

★：りそな景気先行指数関連指標

ジャクソンホールでのFRB議長講演に注目が集まります。ウォーシュ議長がガイダンス提示に消極的であることや利上げ観測が後退していることから、政策の方向性が示される可能性は低いとみられます



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

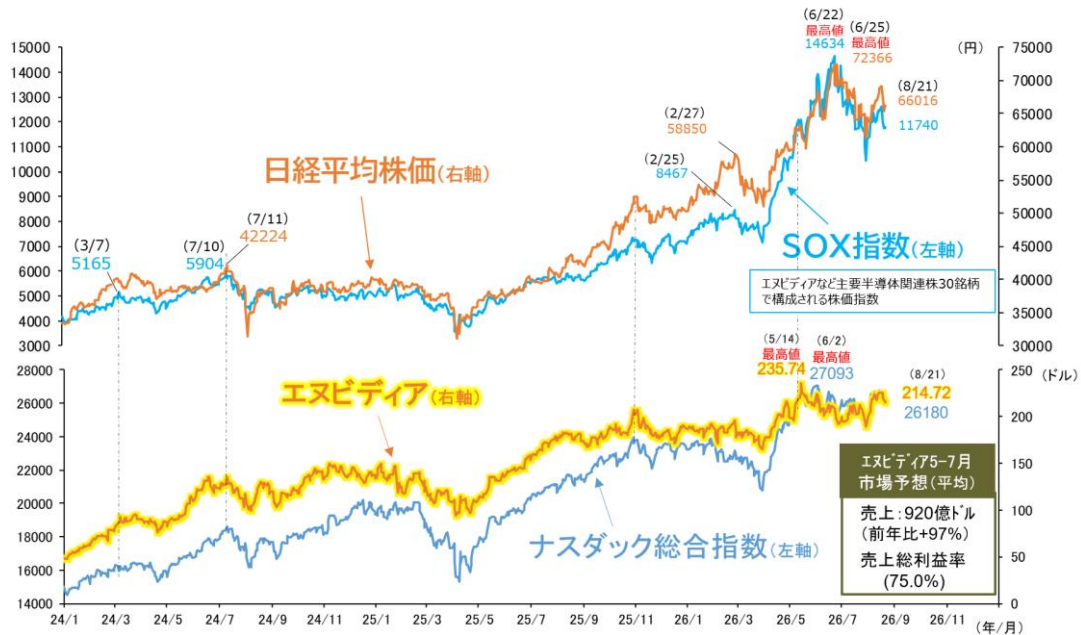
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

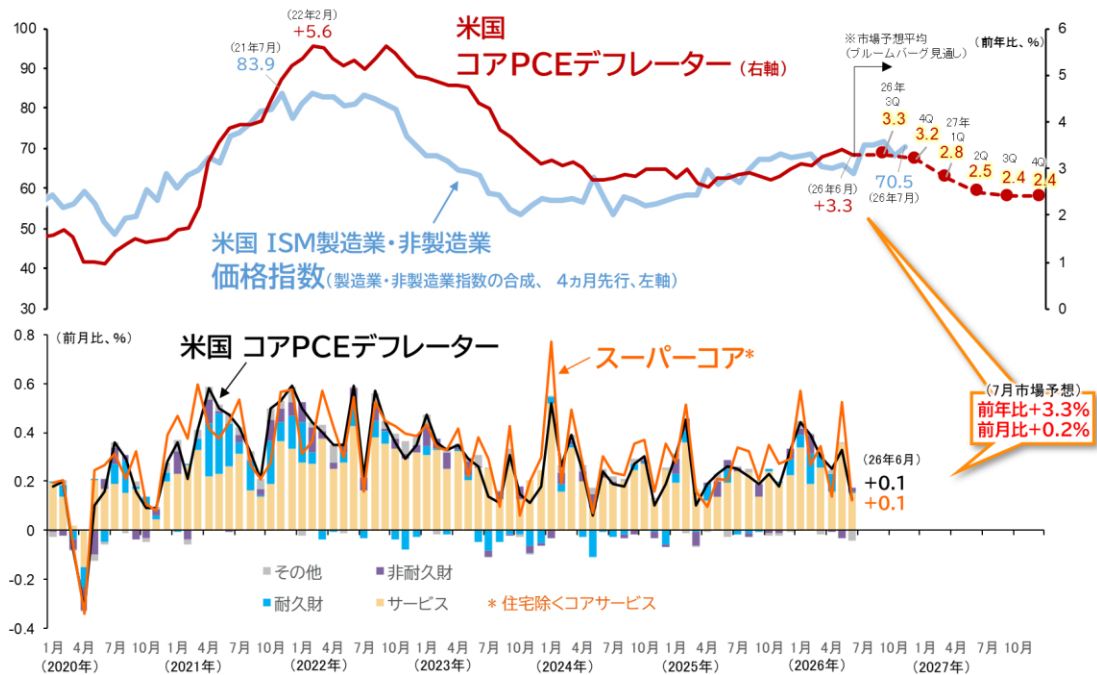
RESONA

AI半導体最大手エヌビディア社の5-7月期決算が現地26日NY市場引け後に発表されます。市場予想では、売上は前年比+97%とほぼ倍増、価格決定力を表す売上総利益率は前期並の75%が維持される見通しです



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

7月コアPCEデフレーターは、前月比+0.2% (6月+0.1%) と低い伸びにとどまる見込みです。また、前年比は先月と変わらずの+3.3%と、7-9月頃にピークアウトするとの市場予想を裏付ける内容となる見通しです



【出所】Haver Analytics、ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年8月31日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。